


公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

| | | | |
|--------|--|----|--------------------------------|
| 代表者氏名 | 北條理恵子 | 所属 | 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 |
| 研究会等名称 | 産業安全行動分析学研究会 | | |
| 成果概要 | <p>1) 参加人数(会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください) 会員 9名(うち認定心理士 0名) 非会員 36名(うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>研究会の目的 産業安全分野では、おもに機械側からの安全対策が講じられており、作業員から生じた不安全行動は機械側をコントロールして危険回避を行っています。しかし、事故につながる要因は、最終的には作業員自身の行動に拠るところが大きく、機械側からの対策のみでは十分とはいえません。機械安全の領域では、人由来の要因については残留リスクのまま残されています。また、作業現場におけるリスクアセスメントが努力義務として定められていますが、人の行動をターゲットとした対策は十分行われていないのが現状です。そこで、人の安全行動を確立し、不安全行動を減らすためには、行動分析学的介入が有効と考え、産業安全の領域で行動分析学の理解を求め、安全対策として行動分析学的手法を広く活用するために研究発表会を開催し、心理学及び産業安全分野との融合を図りたいと思っています。</p> <p>研究会実施内容 第2回産業行動分析学研究会「ヒューマンエラーの削減と安全行動の強化を目指して」 日時：平成31年2月17日(日)10:00-16:00 会場：オフィス東京(東京都中央区京橋1-6-8 コルマ京橋ビル) プログラム 研究会主旨説明 10:00-10:05 労働安全衛生総合研究所機械システム安全研究グループ・産業安全行動分析学研究会代表 北條理恵子 教育講演1 10:05-11:05 「産業現場における機械安全の現状」 オムロン株式会社商品事業本部 セーフティー事業部 事業計画課主査 築山 和成 教育講演2 11:15-12:15 「安心・安全の行動論的基礎」 駒澤大学名誉教授 小野浩一 話題提供1 12:15-12:35 「安全衛生行政から期待を寄せて」 厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長 奥村伸人 話題提供2 13:35-14:05 「工学屋からみた行動分析学の面白さとその活用」 労働安全衛生総合研究所機械システム安全研究グループ 濱島京子 話題提供3 14:05-14:45 「障がいのある個人に対する行動分析学に基づくキャリア支援」 立命館大学総合心理学部 中鹿直樹 話題提供4 14:50-15:20 1) 「モバイルロボット走行環境での支援的保護システムの有効性検証実験」 日本大学大学院理工学部修士課程1年 松井克海 2) 「産業現場におけるリスクアセスメントへの行動分析学の応用」 産業安全行動分析学研究会代表 北條理恵子 全体討論 15:20-16:00 総司会：土屋政雄(株)アドバンテッジ リスク マネジメント</p> <p>成果 45名の参加者があり、心理学のみならず多方面の異業種の参加がありました(出席者リスト参照)。</p> <p>将来計画 来年に第3回目の研究会を開催したいと考えています。来年はゼネコン(清水建設)からトンネル工事現場での行動分析の活用の可能性について教育講演を行っていただく予定です。心理学方面では、行動分析学分野の有識者の講演を予定しております。心理学と産業分野との情報交換の場として充実した研究会を行いたいと考えています。</p> | | |

研究集会参加者リスト

| 〈研究会名〉 | | | |
|--------------|---|----------------|-----------|
| 産業安全行動分析学研究会 | | | |
| 研究集会開催日： | | 2019 年2月17日(日) | |
| 氏名 | 所属 | 会員 | 認定 心理士 |
| 1 武内寛子 | 西日本旅客鉄道株式会社 安全研究所 | | |
| 2 榎本隆司 | 東日本旅客鉄道株式会社JR東日本研究開発センター 安全研究所ヒューマンマシンG | | |
| 3 北條理恵子 | 独立行政法人労働安全衛生総合研究所 | ○ | |
| 4 相原由花 | ホリスティックケアプロフェッショナルスクール | | |
| 5 清水尚憲 | 労働安全衛生総合研究所 | | |
| 6 白石 賢 | 首都大学東京 | | |
| 7 眞砂英樹 | 海洋研究開発機構 | | |
| 8 石川 祥啓 | 専修大学大学院 文学研究科 心理学専攻 | ○ | |
| 9 石岡 綾香 | 駒澤大学 | | |
| 10 松井知子 | せたがや訪問看護ステーション | | |
| 11 松井克海 | 日本大学 | | |
| 12 伊藤弘人 | 労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 | | |
| 13 渡辺葉子 | 加藤美容室 | | |
| 14 袴田 康佑 | 室町機械 | | |
| 15 汐元亜美 | 室町機械(株) | | |
| 16 渡部要 | 室町機械(株) | | |
| 17 野川由紀 | 帝京大学医療技術学部視能矯正学科 | | |
| 18 柳原 克哉 | ジー・オー・ピー(株) | | |
| 19 石丸 佳昌 | ジー・オー・ピー(株) | | |
| 20 岩淵 龍司 | ジー・オー・ピー株式会社 技術部 | | |
| 21 新谷英一 | よつ葉乳業(株) | | |
| 22 井上正師 | 中国化薬株式会社 | | |
| 23 久保 尚也 | 駒澤大学 | ○ | |
| 24 石井 拓 | 和歌山県立医科大学 | | |
| 25 西川 泰夫 | 上智大学名誉教授 | ○ | |

| | 氏名 | 所属 | 会員 | 認定 心理士 |
|----|-------|---|----|-----------|
| 26 | 河嶋孝 | なし | ○ | |
| 27 | 八重樫勇介 | 株式会社MillReef | | |
| 28 | 日下部茂 | 長崎県立大学 | | |
| 29 | 梶谷勇 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 | | |
| 30 | 腰冢由子 | 駒澤大学 | ○ | |
| 31 | 谷脇千穂 | タクト株式会社 | | |
| 32 | 岩本 一朗 | 新日鉄住金エンジニアリング(株) | | |
| 33 | 杉原 千砂 | ピルツジャパン株式会社 | | |
| 34 | 土屋政雄 | (株)アドバンテッジ リスク マネジメント | ○ | |
| 35 | 本江彰 | 日本ヒューマンファクター研究所 | | |
| 36 | 渡辺琴乃 | 埼玉医科大学付属病院 | | |
| 37 | 渡部明子 | 国立がんセンター | | |
| 38 | 野本秀樹 | 有人宇宙システム株式会社 IV&V研究センター | | |
| 39 | 濱島京子 | 労働安全衛生総合研究所 | | |
| 40 | 小野浩一 | 駒澤大学 | ○ | |
| 41 | 中鹿秀樹 | 立命館大学 | ○ | |
| 42 | 築山和哉 | オムロン株式会社 | | |
| 43 | 奥村伸人 | 厚生労働省安全衛生部安全課長 | | |
| 44 | 小島英郷 | 清水建設 | | |
| 45 | 渡部正彦 | ギンク先記入札  | | |
| 46 | | | | |
| 47 | | | | |
| 48 | | | | |
| 49 | | | | |
| 50 | | | | |

(様式5)

2019年4月12日

日本心理学会研究会 2018 年度会計報告書

研究会名称 産業安全行動分析学研究会

研究会番号 研18003

助成金額 ¥30,000

| 年月日 | 項目 | 金額 |
|------------|------------------|---------|
| 2019年2月17日 | 講師謝礼（築山氏） | ¥10,000 |
| 2019年2月17日 | 交通費（築山氏、東京—京都往復） | ¥26,000 |

支出合計 ¥36,000